

いま、『協同』が創る 2014 全国協同集会 in 九州・沖縄

協同の力で働く喜び、生きるよろこびを！

～ 集まらんですか、語らんですか。平和尊び、生命輝く未来へ～

各分科会のチラシが完成！

2014 全国協同集会では 21 の分科会を準備しています。それぞれにデザインされたチラシを見開きで紹介していきます。

第一分科会「高齢者が地域で活躍するコミュニティケアの創造へ」

第一分科会「高齢者が地域で活躍するコミュニティケアの創造へ」最後の分科会会議をひらきました。超高齢社会の中、「地域の可能性を共有し、コミュニティケアの仕組みづくりを参加者皆さんと一緒に創る分科会にしよう!!」と確認しました。

福岡市社会福祉協議会がある「福岡市市民福祉プラザ ふくふくプラザ」内には全国協同集会のポスター掲載!! 実行委員である福岡市社会福祉協議会の藤田さん、福岡県高齢者福祉生協の萩尾さん、ワーカーズコープ福寿上原さんが協同集会ポスターを持って「多くの参加をお待ちしています!!」。



いま、『協同』が創る 2014 全国協同集会 in 九州・沖縄
協同の力で働く喜び、生きるよろこびを！
～ 集まらんですか、語らんですか。平和尊び、生命輝く未来へ～

第1分科会

高齢者が地域で活躍するコミュニティケアの創造へ

社会的孤立の進行、貧困と格差の拡大、単身や認知症の高齢者の増加等、超高齢社会が抱える課題は多い。社会保障改革の一環である改定介護保険法も 2015 年度から施行される。今、住民の暮らしと地域の実態から、公的制度の枠組みを超えて高齢者自身や地域全体で創造する「コミュニティケア」の実践や新たなしくみを考える。

11月23日(日) 10:00～15:30
会場：アクロス福岡地下2F イベントホール

◆第1部：基調講演 10:00～11:30



「無縁社会から老人漂流社会まで、取材の現場より」
NHK大型企画開発センターチーフ・プロデューサー
板垣 淑子 氏

◆第2部：パネルディスカッション 12:30～15:30
「地域全体で支え合う地域づくりの実践に学び、新たな仕組みづくりを考える」

- ◇パネリスト
- ・ 関 一浩 氏 (小規模多機能施設おといわ「ゆい」施設長)
 - ・ 坂元 雅子 氏 (福岡県高齢者福祉生活協同組合 水巻支部 運営委員長)
 - ・ 藤田 博久 氏 (社会福祉法人福岡市社会福祉協議会 地域福祉部長)
 - ・ 田中 紀代子 氏 (ワーカーズコープ・センター事業団 草津みんなの家 所長)
- ◇コーディネーター
稲月 秀雄氏 (日本高齢者生活協同組合連合会 専務理事)
- ◇コメンテーター
板垣 淑子氏 (NHK大型企画開発センターチーフ・プロデューサー)

【お問い合わせ】
「いま、『協同』が創る 2014 全国協同集会 in 九州・沖縄」実行委員会事務局
TEL: 092-441-7587 FAX: 092-441-8281 E-mail: kusu-event@roukyou.gr.jp
住所: 福岡市博多区堅粕4-1-12 鷗井ビル2階21号 (ワーカーズコープ 九州・沖縄事業本部内)

いま、『協同』が創る 2014 全国協同集会 in 九州・沖縄
「協同の力で働く喜び、生きるよろこびを!」～ 集まらんですか、語らんですか。平和尊び、生命輝く未来へ～

第2分科会

生活困窮者支援制度を焦点に

～ 孤立と分断、排除を超えて、ともに生きる、ともに働く地域を創る～

11月23日(日) 10:00～15:30 会場：アクロス福岡 イベントホールB

2015 年 4 月から始まる「生活困窮者自立支援法」。新制度の施行に伴い、全国各地で本制度の運用・地域づくりに向け、モデル事業への取り組みや検討が進んでいる。そのような中、生活困窮状態に置かれている人々が抱える困難要因は、経済的困窮と社会的孤立を中心に多様化・多層化していることも明らかになってきている。一方で、地域の中には「働くこと」や「暮らすこと」に困難を抱える人々を排除することなく、支え合い、ともに働き、ともに生きる多様な実践があり、その取り組みから見えてきている課題もある。これらの実践と課題を共有し、「生活困窮者自立支援法」の施行とあわせ、生活困窮状態を生まない地域づくりへの一歩を踏む。

《基調講演》 本間貴明氏 「生活困窮者支援制度について」
(厚生労働省社会・援護局地域福祉課課長補佐)
「生活困窮者支援制度」とは? 2015 年から何が始まるようとしているのか?」

《実践報告・ディスカッション》
各地で取り組まれている「生活困窮問題」の実践・取り組みをご報告!!

<p>藤村貴俊氏 (京丹後市 寄り合い支援 総合サポートセンター) ※当委員の方を登壇 / / 当委員 / 人 / 人の「働くこと」「暮らすこと」に取り組む 津島長徳の取り組み</p>	<p>松本裕文氏 (NPO法人 釜ヶ崎支援機構) 野間生志(ホームレス)の自立に向け「就労機会創出」と「生活参加 機会創出」に取り組む実践</p>	<p>行岡みち子氏 (グリーンコープ共同会事務理事) 生活困窮状態の取り組みから、生活困窮問題・生活困窮者支援に向けた 行政と民間の連携について考える。</p>
<p>城戸寛博氏 (社会福祉法人グリーンコープ 九州・沖縄事業団) 瀬崎篤弘氏 (社会福祉法人グリーンコープ 福岡福岡)</p>	<p>坂川竜也氏 (ワーカーズコープ・センター事業団 理事兼事務)</p>	
<p>◇コメンテーター 加藤聡彦氏 (沖縄大学名誉教授) 福田裕介氏 (大分大学)</p>	<p>◇コーディネーター 古村伸宏氏 (日本労働者協同組合(ワーカーズコープ)連合会)</p>	

【問い合わせ】
いま、『協同』が創る 2014 全国協同集会 in 九州・沖縄 実行委員会事務局
住所: 福岡市博多区堅粕4-1-12 鷗井ビル2階21号 (ワーカーズコープ 九州・沖縄事業本部内)
TEL: 092-441-7587 FAX: 092-441-8281 E-mail: kusu-event@roukyou.gr.jp

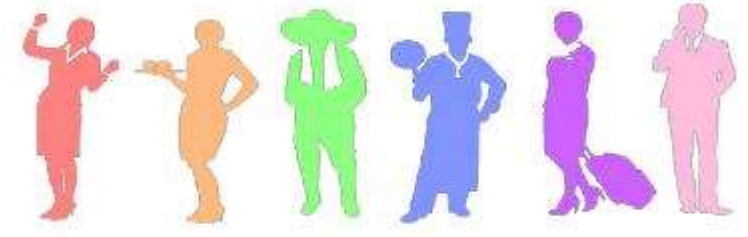
第3分科会 この分科会は若者分科会です

思っていること、感じていること、たくさん話しませんか?

～ これからの私たちに必要なこと～

テーマ

社会人となって働くということ。家業を継ぐということもあれば、企業・団体の一員になるという選択肢もある。就労は人生の中でも大きな選択のひとつといえるだろう。では、働くことのイメージを私たちは捉えられているのだろうか。少しだけ先輩だったり、たくさん先輩だったりする人と一緒にワールドカフェ方式で、考えを持ち寄り、語り合い、自分の中の「思い」に出会いませんか。



プログラム

- ◆ ゲスト 寺脇研 氏 (元文部省官僚・映画評論家・京都造形芸術大学芸術学部教授)
- ◆ トークセッション「働く、生きるを語ろう」
- ◆ ワールドカフェ「みんなで話そうこれからのこと」



2014年11月23日(日) 10時00分～15時30分
アクロス福岡 606会議室 (定員 40 名となりますのでご了承ください)

【お申し込み・お問い合わせ】
実行委員会事務局
〒812-0043 福岡市博多区堅粕4丁目1-12 鷗井ビル2F21号
日本労働者協同組合(ワーカーズコープ)連合会 センター事業団九州沖縄事業本部
TEL: 092-441-7587 FAX: 092-441-8281 E-mail: kusu-event@roukyou.gr.jp

第5分科会「東日本大震災からの復興を人間復興のコミュニティへ」

実行委員のグリーンコープ中島さん、NPO グラウンドワーク福岡の大谷さん、ワーカーズコープ内村、鹿子島、分科会のコーディネーターである福岡教育大学の井上先生も参加し集会直前最後の会議を開催。

登壇者の皆さんの資料・進行を確認。赤坂憲雄さん基調講演はじめ、九州福岡から東北復興の取り組み、日本笑い学会石巻支部、ワーカーズコープの大植、亘理での仕事おこしの取り組み、更に福島県安達高等学校から震災と原発事故からの放射線教育、再生エネルギーを全学年で学びあう“復興教育”の取り組みも追加報告・登壇が決まりました。

分科会立案の打ち合わせだけでなく、今の東北の現状を井上さん、大谷さん、中島さんからもお話し頂きました。井上先生も協同集会に学生を連れてくることで、さらにチラシを100枚持ち帰り頂きました。震災から何を学び、何を伝え、どんな社会を創るのか。風化させないために。多くの参加をお待ちしています。



いま、協同が創る2014全国集会 in 九州・沖縄 第4分科会

成長なき「人口減少社会」に 持続可能で豊かな地域社会を創る

～自治体消滅論へ抗する～
すでに大げとの田園回帰は始まっている

日本社会は、人口減少社会、超少子・超高齢社会という未曾有の歴史的事態に直面している。5月に出された日本創生会議の報告によれば、今後数百年の自治体が消滅する可能性があると指摘する。しかし、自治体の消滅は本当なのか、平成の大合併は何をもたらしたか、選択と集中による地方の切り捨てにならないか、すでに若者たちが農山村に移り住み、次の時代を切り拓いている。本分科会では自治体消滅論に抗すると共に、九州や全国の田園回帰の事例にも触れながら、持続可能で豊かな地域をつくるには何が求められているのか、を一緒に考えたい。

2014年11月23日(日)

10:00～15:30(9:30 開場)

会場:アクロス福岡 中央区天神1-1-1地下鉄「天神駅」より徒歩3分

参加費:分科会のみ2,000円(資料代等)、全体会と分科会の二日間参加は3,000円

主催:いま、「協同」が創る2014全国集会 in 九州・沖縄 実行委員会
●申込み・問合せ先
〒812-0043 福岡市博多区堅粕4-1-12 鷗井ビル2階21号
TEL:092-441-7587 FAX:092-441-8281、Mail:kusu-event@roukyou.gr.jp

プログラム

- ◆基調講演
坂本誠
全国町村会総務部調査室室長
- ◆パネルディスカッション
コーディネーター
甲斐良治
農山漁村文化協会 編集局次長
- ◆コメント
藤本雅彦
九州大学大学院 助教

パネリスト
上治英人
熊本県多良木町視木集落支援員

パネリスト
藤本哲朗
フォトメッセージマガジン日向時間会代表

パネリスト
渡邊長穂
元西日本新聞社

いま、「協同」が創る2014全国集会 in 九州・沖縄

第5分科会

東日本大震災からの復興を 人間復興のコミュニティへ

11月23日(日)10:00～15:30

会場:アクロス福岡 608会議室

東日本大震災から3年半を経て、被災地で復興活動をしている市民の取り組みや支援活動を踏まえて、これからの展望など将来を見据えた人間復興(自立に向けた活動)について、必要な事は何かをみんなで考える分科会

ディスカッション
○パネラー
・村上 省三 氏
(生活協同組合連合会グリーンコープ連合会常務理事・共生地域創造財団理事)
・大谷 妙人 氏
(特定非営利活動法人グラウンドワーク福岡・理事・事務局長)
・伏見 不二雄 氏
(石巻形報副代表取締役、日本笑い学会石巻支部支部長)
・古澤 光 氏
(ワーカーズコープ東北復興本部大槌地域福祉事業所 所長)
・竹森 幸太 氏
(ワーカーズコープ東北復興本部亘理地域福祉事業所 所長)
○コメント
赤坂 憲雄 氏
(学習院大学文学部日本語日本文学教授、福島県立博物館館長)
○コーディネーター 井上 豊久 氏
(福岡教育大学福祉社会教育コース教授)

問い合わせ
いま「協同」が創る2014全国集会 in 九州・沖縄 実行委員会事務局事務局事務局
住所:福岡市博多区堅粕4-1-12 鷗井ビル2階21号(ワーカーズコープ九州・沖縄事業本部)
TEL:092-441-7587 FAX:092-441-8281 E-mail: kusu-event@roukyou.gr.jp

協同の方で働く喜び、生きるよろこびを！
「協同」が創る2014全国集会 in 九州・沖縄

第6分科会

あなたの《意志あるお金》で くらしと社会を変える

11月23日(日)10:00～15:30 アクロス福岡2F セミナー室2

「世界を変えるなんて大げさだ」と感じるかもしれない。
「自分にできるわけがない」と思うかもしれない。
でも、今の自分にできること、意思をせき止められること、
そんな小さな一歩を踏み出すことが、自分の周囲を変え、世界を変えていく。
すべての人に、その力がある。僕は、そう信じている。
「僕が学んだゼロから始める世界の変え方」まきがきより 著者:角丸昌也さん

◆基調講演「こうして僕は世界を変えるために一歩を踏み出した」
角丸 昌也さん(認定NPO法人テラ・ルネッサンス理事・創設者)
1979年福岡県生まれ。大学在学中の2001年に初めてカンボジアを訪れ、地雷被害の状況を知り、「まず『伝える』ことから」と講演活動を始め、青年「テラ・ルネッサンス」を設立し、現在は地雷や子ども兵、平和構築などに取り組んでいる。講演は年100回以上。遠い国の話を身近に感じさせ、「一人ひとりに未来をつくる能力がある」と訴えかける講演に共感が広がっている。

◆パネルディスカッション「あなたの意志あるお金でくらしと社会を変える」
世の中のお金の流れは貧困や格差などを生んでいる現実がある。その一方で「意志あるお金」の流れは、私たちの暮らしと社会を豊かに変えることができる。その可能性を実践から探る。

パネリスト
中須 健治さん (公益財団法人 福岡県生涯学習振興財団 代表)
本河 知明さん (NPO法人 協同 代表)
吉田 文子さん (生活共生アソシエーション・コミュニティ代表) ともに(代表)
藤内 結子さん (公益財団法人 福岡県生涯学習振興財団 代表)
伊佐 洋さん (筑波大学経済学部 教授)
永田 賢介さん (NPO法人 協同 代表) (NPO法人 協同 代表)

コーディネーター
コメント

問い合わせ
いま「協同」が創る2014全国集会 in 九州・沖縄 実行委員会事務局
住所:福岡市博多区堅粕4-1-12 鷗井ビル2階21号
TEL:092-441-7587 FAX:092-441-8281(担当:池田) E-mail:kusu-event@roukyou.gr.jp